

つながる つなげる
安全・健康・ウェルビーイングのために

従業員

ウェルビーイング

生産性と安全性

意識改革

企業価値向上

ウェルビーイング
・テック

アイデア創出



IGSAP
The Institute of
Global Safety Promotion

一般社団法人
セーフティグローバル推進機構

一般社団法人セーフティグローバル推進機構(The Institute of Global Safety Promotion:IGSAP)は、新しい安全の概念/技術「協調安全/Safety 2.0」を提唱し、その普及・推進を通して、働く人の安全と企業価値の向上に貢献することを目的に設立されました。「協調安全/Safety 2.0」は、働く人の安全を第一に考え、デジタル技術を駆使しながら安心して働ける環境、能力を最大限発揮できる環境を確保することにより、働きがいや生きがいを高めることを目指しています。この考え方は、働く人の安全・健康・ウェルビーイングを実現するものであり、世界で一大ムーブメントに発展。当機構は、国際連合の専門機関である世界保健機構(WHO)や世界労働機関(ILO)、また国際社会保障協会(ISSA)、英国労働安全衛生協会(IOSH)、ドイツ法定労災保険(DGUV)、ORP国際財団(FIORP)、フィンランド労働衛生研究所(FIOH)、国際労働衛生工学協会(IOHA)、国際労働衛生委員会(ICOH)を含む多数の海外機関・企業と連携して活動しています。



向殿 政男 会長
(明治大学名誉教授)

その取り組みは、「技術」「人」「マネジメント」「ルール」による包括的アプローチに基づきます。当機構は、Safety 2.0を活用した「ウェルビーイング・テック」を提唱し、働く人のウェルビーイングを技術で高める活動で世界をリードしています。

主な活動実績

ACTIVITIES

2016年

- ・ 一般社団法人セーフティグローバル推進機構設立

2017年

- ・ 第1回国際安全シンポジウム開催
- ・ 第2回国際安全シンポジウム開催

2018年

- ・ Safety 2.0適合審査登録制度スタート
- ・ ロボット・セーフティアセッサ (RSA) 資格認証制度スタート
- ・ 第3回国際安全シンポジウム開催

2019年

- ・ 第4回国際安全シンポジウム開催

2020年

- ・ セーフティオフィサ (SO) 資格認証制度スタート
- ・ IEC白書"Safety in the Future" (未来の安全) 企画編集

2022年

- ・ 第2回ビジョン・ゼロ・サミット・ジャパン 2022開催



VISION ZERO
SUMMIT JAPAN 2022



2023年

- ・ 書籍『実践!ウェルビーイング 世界最強メソッド「ビジョン・ゼロ」』企画編集
- ・ 第1回『Global Initiative for Safety, Health and Wellbeing@EXPO2025 and BEYOND』会議開催
- ・ Well-being Tech International 2023 企画展示



ウェルビーイングへのアプローチ

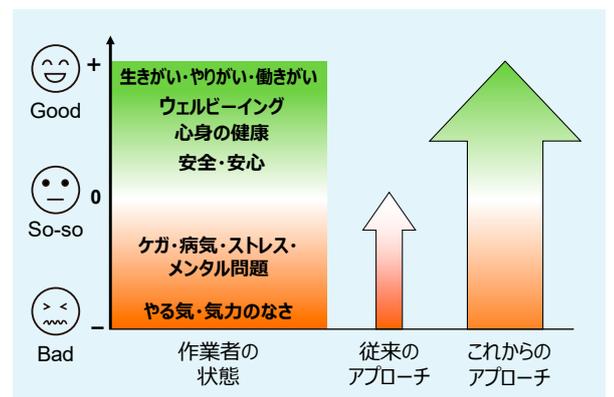
APPROACH FOR WELL-BEING

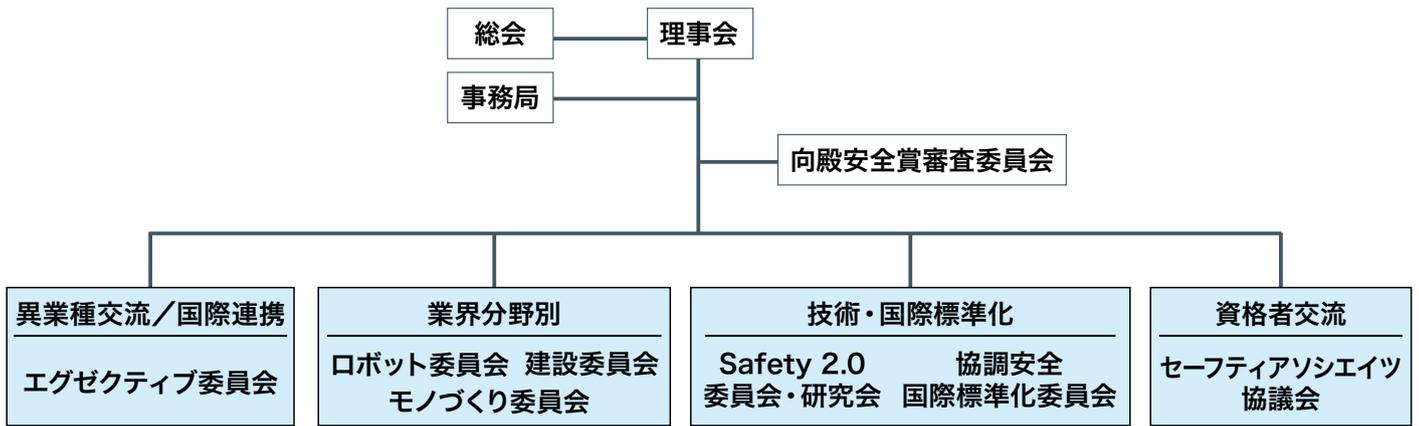
セーフティグローバル推進機構は、働く人のウェルビーイングを「『安全』と『健康』を含む広義のウェルビーイング」と捉え、その実現に向けて新しいアプローチを提唱・推進しています。

それは、ケガや事故、精神的なストレスによる不調、心労、支障などにつながるリスクを払拭する、従来の「マイナス⇒ゼロ」のアプローチの先にあります。具体的には、身体や精神の健康、パフォーマンスの向上、働きがいや生きがいの醸成を促進する、「ゼロ⇒プラス」のアプローチです。

当機構ではこのアプローチを、Safety 2.0を活用した「ウェルビーイング・テック」で可能にし、働く人のウェルビーイングを高めていきます。

ビジネスの世界で注目を集める
「ウェルビーイング」





会員参加型委員会の活動内容

COMMITTEES

エグゼクティブ委員会

経営者・管理者層の目線で、国内外の最新情報の共有や関連機関との連携を図ります。「安全経営フォーラム」を定期開催し、これまでにJAL機体工場、JAXA筑波宇宙センター、清水建設技術研究所、日揮ホールディングス安全教育施設の見学会や、NEC、日揮グローバル、トヨタ自動車による講演会を実施。



ロボット委員会

ロボットシステムのオペレーションやインテグレーションの安全化に向けた人材育成や安全資格制度の構築、普及拡大を図ります。「World Robot Summit 2020愛知大会」ではロボットセーフティアセッサによる安全監視団を派遣。大林組技術研究所で無人搬送車（AGV）を用いた自律搬送システムの見学会を実施。

建設委員会

建設現場の生産性・安全性向上のために、最先端技術を活用する協調安全/Safety 2.0に関するビジョン・仕組みの構築と人材育成を図ります。安全理解を深めるワークショップを11回開催。梶原トンネル建設現場におけるSafety 2.0の取り組みの見学会、全国建設業労働災害防止大会の最高賞【顕彰】を受賞した大和ハウス工業による受賞記念講演会を実施。



モノづくり委員会

当機構が提唱する、新たな安全の概念である協調安全のモノづくり現場への普及を図ります。安全性と生産性を両立するモノづくり現場の実現、働く人が生きがいや、やりがいを感じられる「働く人のウェルビーイング」の実現、協調安全の国際標準化を目指す取り組みを実施。

Safety 2.0委員会・研究会

人と機械が共存する環境での作業者の安全、ウェルビーイングを促進し、技術方策としての協調安全/Safety 2.0の適用拡大を目的に、同技術の検討、推進を図ります。同技術の現場実装を目指し、清水建設、NIPPO、日東電工等の先進企業による事例発表会・意見交換会を開催。産業技術総合研究所において、人を含めた生産現場のデジタルツイン化の見学会を実施。

協調安全国際標準化委員会

協調安全の国際標準化に向けたフィージビリティスタディを経済産業省から受託。その実績を踏まえ、当委員会では海外の安全関連機関と連携しながら、協調安全の標準化を目指す取り組みを展開中。

セーフティアソシエツ協議会

「セーフティアセッサ」「ロボットセーフティアセッサ」「セーフティオフィサ」の安全資格者により構成。社会的認知度やプレゼンスの向上、技術力の向上、情報交換の円滑化を目的に活動。





役員一覧

BOARD OF DIRECTORS

<p>会長 向殿 政男 (明治大学名誉教授)</p> <p>理事 藤田 俊弘 (日本認証株式会社)</p> <p>小平 紀生 (FA・ロボットシステムインテグレータ協会)</p> <p>梶屋 俊幸 (IECEE認証管理委員会副議長)</p> <p>河田 孝志 (河田コンサルタント事務所)</p> <p>寺島 友子 (中央労働災害防止協会)</p> <p>後閑 淳司 (鹿島建設株式会社)</p>	<p>井上 悟志 (東京理科大学大学院経営学研究科)</p> <p>栗原 潤 (キヤノングローバル戦略研究所)</p> <p>吹田 和嗣 (大同大学工学部機械システム工学科)</p> <p>高崎 真一 (国際労働機関 (ILO) 駐日事務所)</p> <p>監事 野田 耕一 (日本規格協会)</p>
--	---

年会費

正会員 入会金20万円 年会費40万円 (賛助会員については、お問い合わせください)

MEMBERSHIP

会員一覧

2024年6月21日現在

MEMBERS

法人・団体正会員 (50音順)

IDEC株式会社
株式会社アトリエ
NTTアノードエナジー株式会社
エフティーエス株式会社
沖電気工業株式会社
株式会社演算工房
株式会社大林組
オムロン株式会社
花王株式会社
鹿島建設株式会社
清水建設株式会社
新東工業株式会社
株式会社ダイフク
大和ハウス工業株式会社
中央労働災害防止協会
東珠株式会社
トヨタ自動車株式会社
ニシオティーアンドエム株式会社
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
西松建設株式会社
株式会社日経BP
株式会社NIPPO

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
一般社団法人日本電気制御機器工業会
日本認証株式会社
株式会社パトライト
パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
パナソニック コネクト株式会社
日立建機株式会社
ファナック株式会社
富士電機株式会社
古河機械金属株式会社
三菱電機株式会社
株式会社安川電機

法人・団体賛助会員 (同)

旭化成株式会社
アズビル株式会社
コニカミノルタ株式会社
株式会社竹中土木
日揮グローバル株式会社
日東電工株式会社
株式会社レールソリューションズ

個人賛助会員

2,005名

お問い合わせ

CONTACT US

一般社団法人セーフティグローバル推進機構 事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番6号 クロスオフィス内幸町404号室
Tel: 03-3500-3602 Email: sec@institute-gsafety.com



SG101
202407-0.4P